

2月8日(月)

つな が り 続 け る

聖書朗読 ヨハネ 15:1~8

あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、・・・
ヨハネ 15:16

私には園芸の才能はありません。信頼できる忠告に基づいて、実は少なくとも、大きくなるようにと願ってモモの木を剪定しました。間違わずにきっちりとやりました。でもそれ以上実は結ばなく季節内に枯れてしまいました。私は旨く行かなかったことに腹を立てました。というのはその木は私が味わった最良のモモの実を結ぶ木だったので。

我が父はブドウ園の農夫であるとイエス様は言っています。そして我が主はブドウの木であり、そこに私たちがとどまり続けているのです。ブドウの木から切り離される事は出来ません。私たちがその枝に留まっている限り、主のために実を結ぶのです。立派な多くの実です。しかし主から離れれば何もできません。

私たちは他人の批判者になってはいけません。農夫である神様が枝を切ったり剪定したりされるのです。他人の実を批判することはたやすいことです。しかし健全で前向きになるためには、私たちはブドウの木の繋がりに注目することが必要です。すなわち精神的な栄養や希望に注目することです。主とつながり、そこから栄養をいただき成長しましょう。

讃美歌 第二編 12

祈り 神様。我が救い主であるブドウの木につながり続けられるように助けて下さい。そしてあなたが喜んでくださる実を結ぶことが出来ますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

スチーブ・C・ゴード
カルフォルニア州 ブライス

今日の力

2016年 2月8日~2月14日

翻訳 井上輝彦

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月9日(火)

隅をきれいにする

聖書朗読 ヨハネ 15:9~17

「わたしが聖であるから、あなたがたも、聖でなければならない」と書いてあるから
です。 I ペテロ 1:16

絵画の巨匠ミケランジェロの話です。彼は、あの有名なローマ大聖堂の壁画を描くために一生懸命になり、しかも情感を込めました。

ミケランジェロは4年もの間、大作を仕上げるために肉体的にも精神的にも苦悩し続けたのです。完成間近のころ、一人の友人が来て言いました。「聖堂の片隅にそんなに時間をかけなくてもだれも気付かないよ」。しかしミケランジェロは、「神様が気づきます」と答えました。

私たちの日常生活においても、人目につかないところは無視しがちです。祈り、聖書朗読、神様に身をささげた人でさえ、目に見えないものには注意を払わないものです。神様は私たちが無視しがちなところに注意を払うようにと呼びかけかけています。私たちは生涯神様を賛美するための美しい生贄として創造されました。

讃美歌 265

祈り 天のお父様。あなたは豊かな生涯を与えてくださいました。見えないけれど意義あるものを無視しないよう助けて下さい。あなたの豊かさで私を満たしてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ダグラス・P・エドワード
ミシガン州 スターリングハイツ

2月10日(水)

二種類の美德

聖書朗読 ヨハネ 19:17~24

麗しさはいつわり。美しさはむなししい。しかし主を恐れる女はほめたたえられる。
箴言 31:30

次のような言い習わしがあります。人には二種類おり、「買い物カートに戻す人と戻さない人」がいます。最近読んだもののうち、二種類の美德というのがありました。一つは履歴書に並べるような美德です。それは自分を売り込むときに何ができるかを書くスキルのようなものです。もう一つは、賛辞する美德です。これは葬儀の時に故人の人となりや人間関係で語られるものです。残された者にとって力強く働きかけるのは後者の賛辞するタイプの美德でしょう。ラルフ・ウォルド・エマーソンは次のように書いています。「人生の目的は幸せになることでなく、自分が役に立てること、尊敬に値すること、人の心に寄り添えることである。それが単に生きたことと立派に生きたことの違いである」。

キリストの生涯を私たちはどのように表現したら良いのでしょうか。自己犠牲的、慈しみ深い？ 福音書で示されているイエス様の親切で力のある偉業は、信仰を深化させ日常の動機づけに役立ちます。しかしイエス様の処刑時に十字架の上に示された「ユダヤの王」は、政治的であり、まやかしの表現であり、イエス様およびその信者を恥ずかしめる意図を持っていました。

確かにイエス様は私たちの王ですが、イエス様の賞賛する美德は、私たちが毎日祝福し、真似たいと思っているものです。私たちはイエス様がどんなお方であったか——あわれみ深く、愛情のあるお方、私たちの救い主であり、友であり、復活主であることを知ることは幸いです。

私たちの賞賛の言葉が有効なものでありますように。

讃美歌 第二編 185

祈り 主よ。私たちはいつもあなたと御言葉を見つめあなたが望むように徳の高い人になれますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

スーザン・K・ギボニー
カルフォルニア州 マリブ

2月11日(木)

愛は動詞

聖書朗読 ヨハネ 19:25~27

イエスは、・・・母に「女の方、そこにあなたの息子がいます」と言われた。それからその弟子に「そこに、あなたの母がいます」と言われた。

ヨハネ 19:26~27

十字架上でのイエス様からのこの短い親密な話しかけは心を奪うものです。母や友達へのイエス様の言葉を読むと、死に直面している人からの愛の力に驚愕するものです。これはイエス様と母マリアとヨハネの結びつきについて語られているものではありません。

死を直前に控へたイエスは多くの言葉を語ることが出来ません。だから十字架上で力を振り絞って発せられた数少ない言葉は、あと少しだけ長生きする者への意味ある言葉です。

ここでイエス様は、父母を敬いなさいという命令を実践されたのです。母の幸福は無視されるべきものではありません。ヨハネもそのことを理解していました。(付け加えると、マリアは正真正銘の母であり、またその意味を十分に理解していなくても、その息子イエス様をより高き神様からの使命者として考え支えてきました。)

イエス様は、友人の愛、生活を共にした弟子達との親密な関係、および宝物のような力をここで私たちに示しになりました。

神様は愛です。この十字架上でイエス様を通してマリアとヨハネに語られたはっきりした言葉は神様が語られた愛の言葉です。

同様に大切な、愛する人たちへ語ることが出来、語らなければならないことは何かを学びます。誰があなたの語る愛の言葉を必要としていますか。

讃美歌 第二編 184

祈り 主よ。イエス様の愛の言葉の力には感嘆しています。お願いです。他人に私たちの愛を十分語りつくすことが出来ますように。

感謝の気持をイエス様の名前を通して祈ります。アーメン。

バージル・フライ

テキサス州 ヒューストン

2月12日(金)

お墓

聖書朗読 ヨハネ 20:1~9, 30~31

もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせたお方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだをも生かしてください。ローマ 8:11

墓地について言えばここ十数年理解しがたい動きがあります。ニューオリンズやヨーロッパの聖堂や教会では地上の墓があり、彫像や凝った石床や地下聖堂が主要観光スポットになっていることです。何世紀もの前の皇族、政治家、聖職者、詩人、音楽家、作家、大金持ちが、非常に多くの建物や彫像によってたたえられているのです。

皮肉にも、聖書に登場する重要な人物について、彼らの彫像についての記述はありますが、実際には存在するものではありません。アブラハム、イサク、ヤコブはヘブロン原野のmamレーの木の上に近くに埋葬されています。神様はモーセを埋葬されました。しかし『今日に至るまで、その墓を知ったものはいない。』(申命記34:6)のです。

神の子であるイエス様の墓について知られていることは、アリマタヤのヨセフが死体を園へ運んで行き、まだ誰も葬られたことがない岩を切り込んだ墓へ入れたことです。イエス様のお墓で最も驚くべき事実は、そのお墓が空っぽになったことです。

墓の目的は、ある人の死後、その人を偲ぶためのものと言うのが妥当なところでしょう。しかしキリストにあずかる私たちの真実は、いつかイエス様のように私たちの墓が空っぽになることではないでしょうか。

讃美歌 325

祈り 主よ。この世は死で命の終わりと考えています。私たちの内に住まわれているあなたの御子を通してあなたが永遠の命を与えて下さった事に感謝します。イエス様の御名により。アーメン。

ナンシー・ベイカー

テキサス州 アビリン

2月13日(土)

神の愛が人々を変える

聖書朗読 使徒 9:11~16

しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。
マタイ 5:44

イエス様の教えの中で恐らく最も従うのが困難なものは「汝の敵を愛しなさい」と言うことでしょう。失意にある時の自分の心に反するものです。私たちに良くしてくれる人を愛することはわかりますが、敵を愛するのですか？

キリストが言われたことは本心です。十字架の上で殺そうとしている人たちのために祈るという愛を自ら示されたのです。また当時敵であったサウルを全世界へ向けての伝道者とすべく、愛によりお選びになりました。神様がイエス様に命を下されたとき、サウルは熱心に信者を迫害し、脅迫と殺人を犯しており、平和と愛の福音を伝えるには最もふさわしくない人でした。

サウルの改心は聖書上でも最も驚くべき瞬間のひとつです。それによりインパクトのある次のメッセイジが生まれたのです。イエス様が私たちに実行せよと教えられた事を神様がなさっている。神様は敵を愛され、愛すべきイエス様の友として彼らを迎え、子どもとされたのです。それは神様がイエス様の人格を示し、私たちに真似るように求められた時でした。

これまでどこにいたのか、何をしていたか、誰であるかにかかわらず、私たちは神様の愛によって変化し得るものです。私たちがそのことを学んだら、次は神様が示されたように愛することをしましょう。敵にもです。

讃美歌 389

祈り 神様。イエス様が私たちに教えたことが出来ますように助けて下さい。また誰に対しても、また自分に対して良い振る舞いをしない人にも親切と愛を持って接することが出来ますように導いて下さい。

イエス様の御名により。アーメン。

イーサン・ブラウン

ノースカロライナ州 ヘンダーソンビル

2月14日(日)

希望は願望ではない

聖書朗読 ローマ 8:18~27

どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。

ローマ 15:13

あなたの未来に対して最も大きな希望とは何ですか。それらが成就する確率はどの程度大きいですか。それとも希望はいつも砕かれるので、諦めて起こらないと思うような願望に変わっていますか。

聖書による希望とは力強い期待です。キリスト信者の希望は未来に対する確信的な自信であります。『わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとへ迎えます。』(ヨハネ14:3)。ヨハネが言っていることですが、キリストにあつての望みとは確かな知識の表現です。『私が神の御子の名を信じているあなたがたに対してこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちを持っていることを、あなたがたによくわからせるためです。』(Iヨハネ5:13)。これは単に願望的な考えではありません。むしろ神様は私たちに将来イエス様と一緒にいることを約束されたのです。

天国に関しては、私たちは願望で言っているのではなく「躊躇なく、確実に天国に、行けると希望をもっています」。「主はすぐに来て下さり、私はもう準備ができています」。

讃美歌 527

祈り 天のお父様。イエス様と未来についての真の希望の力を教えてください。
イエス様の御名により。アーメン。

シャーロッテ・マイズ
テキサス州 ラボック